

<物 件>

水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(南消防署野比出張所) 仕様書

1	物件名称	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(南消防署野比出張所)
2	品質・形状・寸法 又は型式	別添仕様書のとおり
3	グリーン物品の指定	指定しない
4	数 量 (単価契約の場合 は予定数量)	1台
5	納入期限	平成31年3月12日(火)
6	納入場所	横須賀市消防総合訓練センター(横須賀市長瀬3丁目4番1号)
7	特記事項	納入後、旧車両及び別表に記載する資器材と同等のものを引取り処分すること。
8	契約方法	総価契約
9	支払方法	納入後、請求により一括払い
10	その他事項	・落札価格には購入車両の新規登録申請等にかかる手続き及び費用負担を含む。 ・自賠責保険料、重量税、購入車両の自動車リサイクル法にかかる費用は別途支給する。 ・この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	連絡先	横須賀市消防局 警防課 車両整備係 河村(046-821-6506)

指示事項

グリーン物品	上記で指定がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品を選定し、納品すること。 方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照してください。
--------	---

平成 30 年度

水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型 仕様書

(南消防署 野比出張所)

横須賀市消防局

第1 総 則

この仕様書は、横須賀市(以下「本市」という)が購入し、南消防署野比出張所に配置する水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(以下「水槽車」という)について必要な事項を定める。なお、疑義が生じた場合は本市と協議をし、十分熟知のうえ契約するものとする。また、契約後に生じた疑義は、すべて本市の解釈に従うものとする。

第2 規 格

本車両は、本仕様書に定めるところによるほか、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱(平成18年4月1日消防消第49号)、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準及びその他の関係法令の規格に適合し、かつ緊急自動車として承認が得られるものであること。

なお、車両の製作は日本消防検定協会・安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足すること。

第3 契約・仕様打合せ

受注者は、契約締結後1か月以内に仕様内容等について本市と打合せを行い、打合せ終了後の1週間以内にその打合せ内容の確認書を提出すること。

第4 提出書類

1 受注者は、契約後5日以内に次に掲げる書類を本市へ提出すること。

- (1) 契約内訳書
- (2) 製作工程(予定)表

2 受注者は、上記確認書の提出後2か月以内に次に掲げる承認図書を提出し、承認を得てから製作に着手すること。なお、提出不能の図面等については別途協議とする。

製本(A4版ファイル、目次・インデックス付) 1部

- (1) 製作工程表
- (2) 承認図
- (3) 特殊装備部分の電気配線図
- (4) 消費電力一覧表
- (5) その他本市が必要と認めたもの

3 受注者は、納入検査の3日前までに次に掲げる完成図書を作成し、本市へ提出すること。

なお、提出不能の図面等については別途協議とする。

製本(A4版ファイル、目次・インデックス付) 2部

電子媒体(1つの電子媒体に記録) 1部

- (1) 本車両仕様書

- (2) 外観5面カラー写真
- (3) 完成図
- (4) 消防ポンプ性能試験結果表
- (5) 日本消防ポンプ協会が発行した受託評価プレートの写し
- (6) 改造概要等説明書
- (7) 車輛重量実測証明書
- (8) 車検証の写し
- (9) リサイクル券の写し
- (10) 車庫証明の写し
- (11) 自動車損害賠償責任保険証明書の写し
- (12) 排出ガス・燃費基準等ステッカーの写し
- (13) 自動車台帳(本市が指定する様式)
- (14) ポンプ取扱説明書
- (15) 車両取扱説明書(※製本のみ)
- (16) 車両及び積載資器材の保証書
- (17) パーツリスト
- (18) シャンカカタログ
- (19) サイレンアンプ音声合成パターン一覧表
- (20) その他本市が指示するもの

第5 検査、受領、保証等

1 検査申請

中間及び納入検査の申請は、検査日の2週間前までに検査日及び検査場所を明記した書面で本市に申請すること。

2 中間検査

ぎ装途中(塗装前、主要装置及び資器材固定金具が設置後)に実施するものとし、検査時期については別途指示する。

3 納入検査

本市検査員及び納入者が立会いのうえ実施する。

4 受領

納入検査の実施後、本市が合格と認めた場合に受領するものとする。

5 保証

保証期間については納入後1年以上とし、保証書を提出すること。また、設計・製作・塗装・材質・部品等の不良により起因する不都合の発生については、保証期間後であっても受注者にお

いて無償により是正修復すること。なお、特許その他利権上問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

6 技術指導

受注者は、本市が別に指示するとおり、本車両及びぎ装装備品の取扱いについて、技術指導（3日間の予定）を行うこと。また、必要に応じて本市の依頼する指導内容に対応すること。

第6 納 入

1 納入場所

横須賀市消防総合訓練センター（横須賀市長瀬3丁目4番1号）

2 納入期限

平成31年3月12日（火）

第7 登録手続き等

車両の新規登録及び抹消登録に関する一切の経費については受注者が負担する。ただし、本車両にかかる自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及び自動車リサイクル法にかかわる経費は、本市が負担するため別途請求すること。

第8 引取り・解体処分

受注者は下記のとおり、車両及び別表1～4に記載する車両の取付け品と同等のものを引取り・解体処分すること。

1 解体処分方法

（1）車両関係

ア 緊急自動車として再利用、再登録できない状態にすること。

イ 全ての赤色警光灯類（サイレンアンプも含む）を取り外し、再利用不可な状態にすること。

ウ 記入文字の全てを完全に消すこと（色付スプレー等で塗装処理は不可）。

エ その他、本市が指示する必要事項。

オ 上記ア～エの作業実施後、4面カラー写真及び神奈川運輸支局長が発行する解体が行われたことの証明書（登録事項等証明書等）を提出すること。

（2）装備品関係

ア 転売及び再利用ができないよう、適正に処分すること。

イ その他、本市が指示する必要事項。

2 引渡し予定車両

引渡し予定車両の概要は下記のとおりとし、車検証の写しが必要な場合は、担当者まで連絡すること。なお、他車両の状況等により引渡し予定車両が変更になる場合は、速やかに受注者へ通知する。

- | | |
|------------|-------------------|
| (1) 車体の形状 | 小型動力ポンプ付水槽車(409号) |
| (2) 車名 | 日野 |
| (3) 型式 | KL-FJ1JJEA |
| (4) 初年度登録 | 平成16年3月 |
| (5) 車検有効期間 | 平成32年3月25日 |
| (6) 車両重量 | 7,370 kg |
| (7) 車両総重量 | 12,480 kg |
| (8) 定員 | 2人 |

第9 車 両

本市が購入する本車両の主要諸元は、次のとおりとする。

1 購入台数

1台

2 車両タイプ

キャブオーバー型、ダブルシート、消防専用シャシ、ホイールベース 3,750 mm以上

3 エンジン

最高出力及び検定出力

177 kW (240PS)以上 (最新の排ガス規制に対応したもの)

4 駆動方式

二輪駆動

5 変速装置

AT 限定免許で運転可能な方式

6 使用燃料

軽油

7 定 員

5名以上

8 完成車両寸法

- (1) 全 長 8,000 mm以下
- (2) 全 幅 2,480 mm以下
- (3) 全 高 3,300 mm以下

9 装 備 品

別表1のとおり

10 ぎ装、取付け品及び取付装置

別表2のとおり

11 デジタル無線機等、車両運用端末装置

別表3のとおり

12 積載品・付属品

別表4のとおり

第10 車体の構造

- 1 本車両は、常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。
- 2 本車両は、堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、強度を損なうことなく軽量化を図るとともに、使用取扱い上の安全性及び操作性・点検・修理の維持管理を十分考慮したものとすること。
- 3 使用する材料は、全て新規製品、日本工業規格及び国の補助対象規格(「国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊の施設の基準額(平成16年3月30日総務省告示第281号)」並びに「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱(平成18年4月1日消防消第49号)」)に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。

第11 ぎ装等

1 キャブぎ装及び架装

(1) 外 観

- ア 車両前部の中央部に消防章を強固に取付けること。
- イ 助手席側の車外に補助ミラー(純正品とは別)を設けること。
- ウ 赤色点滅灯を車両前部に2個取付けること。
- エ フロントバンパーを100mm程度張出し、アルミ縞板の足掛けを備えること。
- オ ルーフ前方中央部に赤色警光灯(標識灯、スピーカー及びモーターサイレンが一体化され

ているもの)を取付けること。なお、標識灯は車両のスモールランプと連動させ、点灯・消灯させること。

カ ルーフ上の左右2箇所には、無線・AVMアンテナ入線孔を設けること。なお、必要に応じて台座を設けることとし、詳細は別途指示する。

キ 手摺り兼用の旗立てパイプ(口径約25mm)を車体助手席側(Cピラー)に取付けること。パイプには抜け止め防止措置を施すこと。詳細は別途協議とする。

ク フロントガラス上部に左右対称で手摺りを取付けること。

ケ オイルパンヒーター(コードの長さは10m以上、マグネット式)を取付け、カットスイッチを運転席付近に設けること。

コ 無線機等の収納ボックスをキャブ後部の両側に設け、内部に無線送受信器、マイク及びスピーカーを設けること。なお、夜間時の使用も考慮し小型の照明をボックス内部に設置するほか、無線ボックスの扉解放後は任意操作時のみ扉が閉鎖する構造とすること。

サ 安全走行を図るため、可能な限りアプローチアングル(図面記載)を確保すること。詳細は別途協議とする。

(2) 前席内装

ア 車室は堅牢な天蓋及びドアを有すること。

イ 乗車定員はキャブ内に5名以上とし、安全に乗車できる座席を設けること。

ウ 乗車人員の乗降時及び走行時における安全の確保に必要な握り棒、手摺り、ステップ及びシートベルトを設けること。

エ ルームミラー型車載用後方確認装置を取付けること。

オ ドライブレコーダーを取付けること。

カ 運転席付近に後退警報器(ブザー音)の解除スイッチを設けること。

キ バックトーク装置を取付け、車内に専用スピーカーを設けること。また、運転席付近にはON/OFF切り替えスイッチを設けること。

ク エンジンアワーメーターを取付けること。

ケ バッテリーメインスイッチ(シャシ純正)を設け、ぎ装関係の電源も切れる構造とすること。設置位置については別途協議する。

コ オーバーヘッドに設置するものは次のとおりとし、詳細は別途協議とする。

(ア) 運転手が使用可能な位置にモーターサイレンスイッチ(10連SWとは別)を設けること。

(イ) 助手席側に無線機の分離制御器及び無線機スイッチを設けること。(センターコンソール内に無線機本体を設置の場合は除く)

(ウ) 中央部に各種警報ランプを設けること。

(エ) 中央部付近にデジタル時計(電波式)を設けること。

(オ) 中央部に電子サイレンアンプを設けること(センターコンソール内に設置の場合は除く)。なお、10連スイッチと連動するように通信機能を有する施工とすること。

- ・ 音声合成機能付き(方向指示器と連動)警鐘の擬似音を発することが可能であること。

- ・ 赤色警光灯及び赤色点滅灯スイッチは電子サイレンアンプに組み込むこと。

(カ) ヒューズボックス

(キ) その他本市が必要とするもの

サ 各専用マイクは次のとおりとすること。

- (ア) 運転席付近にフレキシブルマイクロホン設置すること。なお、運転手の操作性を考慮すること。
- (イ) 助手席付近の前面パネル及び後部積載庫内の無線送受話器付近（左右各1個）に音声マイク（1回路を分岐配線）を設置すること。
- (ウ) 後部座席付近に多機能マイクを設置すること。
- (エ) 各専用マイクの端子には必要に応じて抜け止め防止措置を施すこと。

(3) 前席中央部内装

前席の中央席を取外し、重量物に耐えうる強固なコンソールボックスを設けること。

当該箇所に付帯する資機材は以下のとおりとする。なお、状況等により変更になる場合は、別途協議とする。

ア 車両運用端末装置（AVM装置、液晶ディスプレイ等の重量は約5kg）

イ 電装用スイッチ（必要時）

ウ 10連スイッチ（誤操作防止保護枠付き）

- (ア) 渋滞通過
- (イ) 交差点通過
- (ウ) 出動予告
- (エ) 赤色点滅灯 OFF
- (オ) 周囲灯・計器灯
- (カ) モーターサイレン
- (キ) 火災出動
- (ク) 救助出動
- (ケ) 赤色警光灯
- (コ) ポンプ操作関係

エ 消防救急デジタル無線機

- (ア) 無線機本体
- (イ) 無線送受話器用ハンガー、送受話器

オ その他本市が指定する資器材収納

カ 電子サイレンアンプ（※オーバーヘッド設置時は削除）

(4) 後席内装

ア 後部座席前方にステンレス製の手摺り棒を設けること。位置については別途協議とする。

手摺りには資器材積載ボックス、書類入れボックス（大きさ別途指示）AVM関連装置ブラケット等を設けること。なお、滑り止めを施したS字フックを6個以上設けること。

イ 電子サイレンアンプで使用する多機能マイクを、後部座席の乗降車及び走行時において支障のない位置に増設すること。

(5) 座席等

ア 座席は前部2席、後部3席（全席シートベルト付）とすること。

イ 全席とも難燃材を使用し、防汚シートカバーを取付けること。なお、運転席側後部には地図及び車検証入れを設けること。詳細は別途指示する。

ウ 後部座席後方に空気呼吸器取付装置一体型のクイックホルダー4基を装着し、下部には保護ゴムを貼付すること。なお、クイックホルダーと呼吸器装着時の調整を納入前に実施すること。また、クイックホルダー付近には帽子掛けを取付けること。

エ 後部座席のシート下部には、可能な限り大きな収納ボックスを設け、資器材等の取出しは上面及び側面の可能な位置に設置した扉から取出せる構造とすること。なお、シート下部の各種配線は資器材収納時において損傷しないように保護すること。

オ シート下部内に収める電装品には、可能な限り水汚損防止の措置を講じること。

(6) 収納等

ア 前席と後席の間及び後席に吊り戸棚式の強固な収納庫を可能な限り大きく設けること。なお、底部は鉄製のパンチング加工とし、小型の専用S字フックを5個以上取付け、落下防止用の立上げを施し、必要に応じてゴムネット及びゴムネット掛け用のパイプ等を設けること。

イ キャブ内において乗降及び走行時に支障のない位置にネット状の網棚を設置すること。大きさ、位置、数については別途協議とする。

(7) 車内照明

ア 運転席、助手席及び後席の天井に埋め込み式LED照明（純正品とは別）を保護枠及び遮光布（必要に応じ）付きで設けること。なお、照明のスイッチは、本体付近に設置しスイッチは切り替え式（ON/OFF）とする。

イ 助手席上部及び後部席左右上部にLEDフレキシブルマップランプを取付けること。

(8) その他

ア キャブ内の床面は可能な限りアルミ縞板張りとし、消防活動後の乗車における水汚損防止の措置を講じること。なお、必要に応じて水抜き穴を適所に配置すること。

イ 天井部は、電装品及び各配線の点検が可能な限り容易に行える構造であること。

ウ 各項目について、シャシ等の構造により施工できない場合は別途協議とする。

エ その他本市が指示する必要事項。

2 積載庫ぎ装及び架装

(1) 外観

ア 積載庫の形状は角を面取りした箱型とし、後面及び側面の積載庫は上下へ可動するシャッター式とし、各巻取部にはシャッター損傷防止策を講じること。なお、必要によりシャッター下部は展開式ステップとする。

イ 車両両側面に展開式扉の積載庫を設けること。なお、前輪、後輪の間に設けるものとし、大きさ等は別途協議とする。

ウ 車両両側面に給油口及び水槽取水口（両側）を設けること。詳細は別途協議とする。

エ 安全走行を図るため、可能な限りデパーチャーアングル（図面記載）を確保し、後輪から後部壁面までの距離が最大限短くなるよう施工すること。

オ 積載庫上面に上がるため、両側面にステップ等を設け、後面には展開式はしご等を設けること。詳細は別途協議とする。

カ 積載庫上面の両側面及び後面は1段手摺りを設けること。なお、資機材の固定を考慮し、支柱部分には十分な強度をもたせること。

キ 積載庫上面はアルミ縞板張りとし、上面に設置するものは次のとおりとする。なお、必要により水槽及び積載庫へ通じる扉(水密構造)を設けるほか、ポンプ室及び水槽の点検を容易に行える点検口を設けること。

(ア) 運転席側及び助手席側にアルミ縞板ボックスを設け、床面は取外しが可能なスノコ板(プラスチック製)を必要数設けること。必要により固定バンド及び仕切り板を設けること。

(イ) 後部の助手席側よりに作業灯(落下防止チェーン付)を取付けること。

(ウ) 前部の運転席側よりに照明灯(落下防止チェーン付)を取付けること。

(エ) 床面には可倒式のフックを必要数設けること。

ク 赤色点滅灯を車両後部に4個(保護枠付)及び両側面に各3個を取付けること。

ケ 周囲灯を車両の両側面に2個を取付けること。

コ 路肩灯を左右後輪付近に取付け、車両のスマールランプと連動させ、点灯・消灯させること。

サ 夜間走行時の視認性を考慮したLED照明を車両後部付近に設けること。

シ バックトークスピーカー(防水機能付き)を後面に設置すること。

(2) 積載庫内

ア 積載庫前部両側面(ポンプ室周囲)

(ア) 両側共に吸管を巻いた状態で積載できる構造とすること。固定金具については別途協議とする。

(イ) シャッター下部は、強度のある展開式扉(ステップ兼用)とすること。また、扉閉鎖時は、迅速なホース延長を可能にするため、4本程度のホースが積載できる構造とする。

(ウ) 積載庫の床面及び周囲は、全面ステンレス板とし排水用の水抜き穴を設けること。なお、必要により、取外しが可能なスノコ板(プラスチック製)を必要枚数設けること。

(エ) アナログ水量計、電子水量計を左右各1個設けること。詳細は別途協議とする。

(オ) ポンプ室の上部は、資器材等の収納庫を可能な限り大きく設け、積載資器材の飛び出し防止措置を講じること。また、必要により積載庫上面から資器材が取り出せる構造とし、詳細は別途協議とする。

(カ) 積載庫床面及び積載庫前面にポンプ等を点検、修理等ができるポンプ室点検口を設けること。

(キ) 防火衣等を掛けるバー若しくはフックを必要数設けること。詳細は別途協議とする。

(ク) 必要箇所に消火薬剤を置くスペースを設けること。

イ 積載庫後部側面の運転席側

(ア) シャッター下部は、強度のある展開式扉(ステップ兼用)とすること。

(イ) 最下段に発電機専用の固定具を設け、その他の箇所に燃料缶を置くスペースを設けること。

(ウ) 可動棚を3段程度設け、資器材に応じた飛び出し防止策及び固定用ベルト設けること。

ウ 積載庫後部側面の助手席側

(ア) シャッター下部は、強度のある展開式扉(ステップ兼用)とすること。

(イ) 水利部署時に必要な資器材を展開棚等で設け安全確実に取り付けること。取付位置の詳細は別途協議とする。

(ウ) 必要に応じて資器材を積載できる展開棚、可動棚を設けるほか、長物を収納できるスペースを確保すること。大きさ、数量等は別途協議とする。

エ 積載庫後部

(ア) 積載庫後部は、横須賀式ホースカー 2 台を収納し固定金具等を設けること。なお、ホースカーの取出しは容易に行える構造とすること。

(イ) 資器材を積載できる棚（可動棚、引出し棚、展開棚）を必要数設け、資器材に応じた固定具、アルミボックスを設けること。

(ウ) エンジンカッター及びチェーンソーの積載場所を設け、関連する部品等も収められる構造とすること。なお、油等の漏えい時に下段に滴下しない構造とすること。

(エ) 可搬式ブロアー 1 台の収納場所を設け、固定できるようにすること。

(オ) 最上部の棚には呼吸器の予備ボンベの収納場所を設けること。

(3) その他

ア 必要に応じた積載品には、堅固な取付金具を設け安全確実に積載すること。また、容易に取外しが可能な構造とすること。取付位置等の詳細については別途協議とする。

イ ボデー損傷を防止するため、取付け品等で損傷を受ける可能性がある箇所にアルミ製の保護板を設けること。設置位置は別途協議とする。

ウ 各積載庫内の有効な位置に庫内灯（LED タイプ、開放と連動）を設け、スイッチは 10 連スイッチの『周囲灯・計器灯』に含むものとする。

エ その他本市が指示する必要事項。

オ 各項目について、構造により施工できない場合は別途協議とする。

3 水ポンプ装置

(1) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和 61 年自治省令第 24 号）に定める A-2 級ポンプとする。

(2) ポンプはアルミ製若しくはメンテナンスフリーの青銅鋳物製とし強度、耐食性を十分考慮したものとする。

(3) グランド部及び軸先端部は外部からのグリス等の注入を必要としない無給油式グランドパッキンまたはグリスレスのメカニカルシールとすること。構造が違う場合には耐久性に優れ、グリス等容易に交換できる様にする。

(4) 動力消防ポンプの駆動は、シャシエンジンの PT0（パワーテイクオフ）で駆動され、PT0 操作は運転席に設けたスイッチで行うものとする。

(5) ボールロック付き 75 mm の吸水口をポンプ室両側に各 1 個設けること。

(6) 吸水口の先端に 75 mm の吸水口エルボを取付け、75 mm × 10m の吸管を常時接続し、側面シャッター内に積載すること。（連続呼水装置付とする。）

(7) ボールロック付 65 mm の放水口をポンプ室両側に各 2 個設け、その先端に放水口媒介金具を取付けること。放水口の位置については、別途協議とする。

(8) ボールロック付 65 mm の中継口をポンプ室両側に各 1 個設け、その先端に中継口用媒介金具を取付けること。

(9) 各ボールロック部分は、容易に点検できる構造とすること。

- (10) 吸水口・放水口・中継口はボデー側面前方シャッター内に設けること。
- (11) サブラジエーターの冷却装置を設け切替により、車外にも排出できる構造とすること。

4 真空ポンプ装置

- (1) 真空ポンプはピストン式、エゼクター式又は、無給油式の4翼～6翼偏芯ローターリーポンプ（排気量1.2L以上）式とすること。
- (2) 真空ポンプの作動は電磁クラッチ方式（揚水完了後、自動的に離脱）とし、両側面に設けたスイッチにより作動すること。また、非常用の真空ポンプ作動スイッチを運転席側面に設けること。

5 ポンプ操作

- (1) ポンプ室の両側にポンプ圧力計・ポンプ連成計、調速ハンドル、多機能液晶ディスプレイ等を設けること。
- (2) ポンプ操作装置の取付位置は、操作員が容易にかつ安全にポンプ操作が行える両側面の適所に設けること。なお、多目的液晶ディスプレイ等の視認性を考慮し、昼間視認性が悪い場合は調光機能等を設けること。
- (3) 本液晶ディスプレイには、下記の表示内容及び機能を有すること。
 - ア 主ポンプ作動状況表示及び主ポンプ揚水表示
 - イ 真空ポンプ作動表示及び真空異常表示（警報ブザー付き）
 - ウ 冷却水異常表示（警報ブザー付き）
 - エ ボールロック開閉確認表示
 - オ ポンプ圧力計及びポンプ連成計
 - カ ポンプ回転計
 - キ 流量計（4放口）
 - ク 積算流量計
 - ケ 自動運転機能（自動調圧機能、キャビテーション回避機能付き）
 - コ ハンドルロック機能（PTOが繋がっていない時は、スロットルハンドルを操作してもエンジン回転操作ができないこと）
 - サ 取扱説明書（PDF等によるもの）。
 - シ ダイアグ機能（過去エラー履歴表示）
- (4) ポンプ操作装置には緊急時における非常停止スイッチを設け、作動後はポンプ回転が自動的にアイドル状態まで降下すること。
- (5) 故障時等においても操作ができる様に、非常用調速ハンドルを設けるものとし、運転席側にて操作がおこなえること。なお、モニター一体式でない場合はこの限りでない。

6 水槽関係

- (1) 車体に、水槽(5,000ℓ以上)を設けること。
- (2) 水槽は、振動・衝撃などにより損傷・緩み等を生じないよう車台に固定し、水圧に対して変形及び水漏れのない構造とし、水槽内面は防食加工を施すこと。

- (3) 水槽内部には有効な防波板を設けること。
- (4) 水槽内部は清掃、塗り替え等に便利な構造であること。
- (5) 水槽にはオーバーフローパイプ、補給口及び排水口を設けること。
- (6) 水槽はポンプからの自己補給及びポンプへの送水が可能とし、ポンプからの吸水口(吸水コック付)及びポンプへの送水(送水コック付)を設け、配管には緩衝措置を施すこと。
- (7) 車両上部の補給口(マンホール)を設けること。なお、補給口の周囲は強度のある2段手摺を設け、資器材積載時の落下防止策を講じること。
- (8) 水槽保護の観点から、非揚水時に水槽吸水コックを開くと、自動的に真空ポンプが作動すること。又、水槽吸水コックを開いている時に、中継コック、吸水コックを開くと自動的に水槽吸水コックが閉まる構造とする(構造上施工不可の場合は別途協議とする)。

7 電装関係

- (1) バッテリー容量は 24V-100AH 以上とし、走行用及び特殊装備品の使用を考慮し、消費電力一覧に基づく必要な電気容量を確保すること。
- (2) バッテリー積載部は引出し式とし、ロックはワンタッチの解除方式とすること。
- (3) 車内の乗降等に支障のない位置に汚損防止枠を設けたバッテリー管理器を取付け、電源はオイルパンヒーターと共用すること。
- (4) キャブ内のセンターコンソールボックス付近にオイルパンヒーターと同一電源の AC100V 用コンセント(2個口接地付)を設置すること。取付位置等は別途調整とする。
- (5) ドライブレコーダーを取付け、電源はACC以上で通電すること。
- (6) 赤色警光灯は、ACC以上で通電すること。

8 無線機

260MHz帯消防救急デジタル無線装置(富士通ゼネラル製CM-2010)無線機本体の取付けを、納車後に本市が実施するため、配線等を次のとおり行うこと。

(1) 車 外

ア 消防救急デジタル無線用アンテナについて

- (ア) 貫通型アンテナ基台と260MHz帯 2分の1波長アンテナを2式取付け、同軸ケーブル(5D-FB)をアンテナ基台コネクタから無線機取付位置までそれぞれ1本計2本配線すること。
- (イ) アンテナは、それぞれ1.2m以上離して設置し、かつアンテナエレメントと同じ高さの金属類から30cm以上離し設置すること。なお、この離隔距離が確保できない場合は、本市と協議し、アンテナ取付位置について本市の承諾を得ること。
- (ウ) アンテナ基台貫通部やケーブルなどから雨露の侵入がないように処理すること。

イ 車外無線送受信器収納ボックスについて

- (ア) 無線送受信器用収納ボックス(以下「収納ボックス」と言う。)を車外左右側面へそれぞれ1個設けること。収納ボックスは送受信操作がし易い場所へ設けること。
収納ボックスは、片開きの扉を設け、扉を閉めている時に扉やケーブル貫通部などから雨露が侵入しないよう処理すること。
- (イ) 無線送受信器用ハンガーを左右収納ボックス内へそれぞれ1個固定すること。

(ウ) 無線機取付位置から車両左側収納ボックス内に6芯ケーブル(MVVS 6C×0.3sq)を1本配線するとともに、左右収納ボックス間も6芯ケーブル(MVVS 6C×0.3sq)を配線すること。

(エ) 送受信器用コネクタと後述する4路回路用トグルスイッチを1の鉄製ケースへ取付け、左右収納ボックス内に固定すること。

ウ 車外無線機用スピーカーについて

(ア) 無線用車外スピーカーを左右収納ボックス内、または車外スピーカー専用ボックスへそれぞれ1個固定すること。各ボックスの取付位置は別途協議とする。なお、無線用車外スピーカー(UNI-PEX社製CA-150ST F)は本市が支給する。

(イ) 支給するスピーカー(CA-150ST F)の取付けができない場合は、定格入力5W以上、定格インピーダンス8Ω以上のスピーカーを受注者で新たに用意すること。

(ウ) 無線用車外スピーカーのケーブルは、左右それぞれの収納ボックス内に巻いておくこと。

(2) 車内

ア 無線機取付について

前席中央部コンソールボックス(以下、「コンソールボックス」という。)内に無線機用ブラケット(富士通ゼネラル マウントシャーシCM-2010MTR)を取付けること。コンソールボックスは、無線機を取付けた時、コンソールボックスと無線機との間に隙間を最小限にするよう加工すること。

イ 車内送受信機について

無線送受信器及び無線送受信機用ハンガーをコンソールボックス上及び後部座席付近の乗降及び走行時において支障のない位置に取付けること。取付位置等は別途協議とする。

ウ 無線機用電源について

(ア) 無線機用電源を組端子台へ配線し、コンソールボックス内に固定すること。

組端子台には、次の電源を供給するように施工すること。

① バッテリー(+)電源(バッテリーからの専用配線 10Aヒューズを入れること)

② バッテリー(-)電源(アース)

③ メインスイッチ(シャシメイン)に連動する(+)電源

(イ) 組端子台と電源線双方に、線種を明記すること。

(ウ) 無線機電源用のキースイッチをコンソールボックス上へ固定すること。キースイッチは、3芯ケーブル(VCTF 3C×0.75sq)と結線(半田付け)し、コンソールボックス内で50cm巻いておくこと。なお、キースイッチの端子と結線する3芯ケーブルの線色等は別途指示する。

エ 無線用車内スピーカーについて

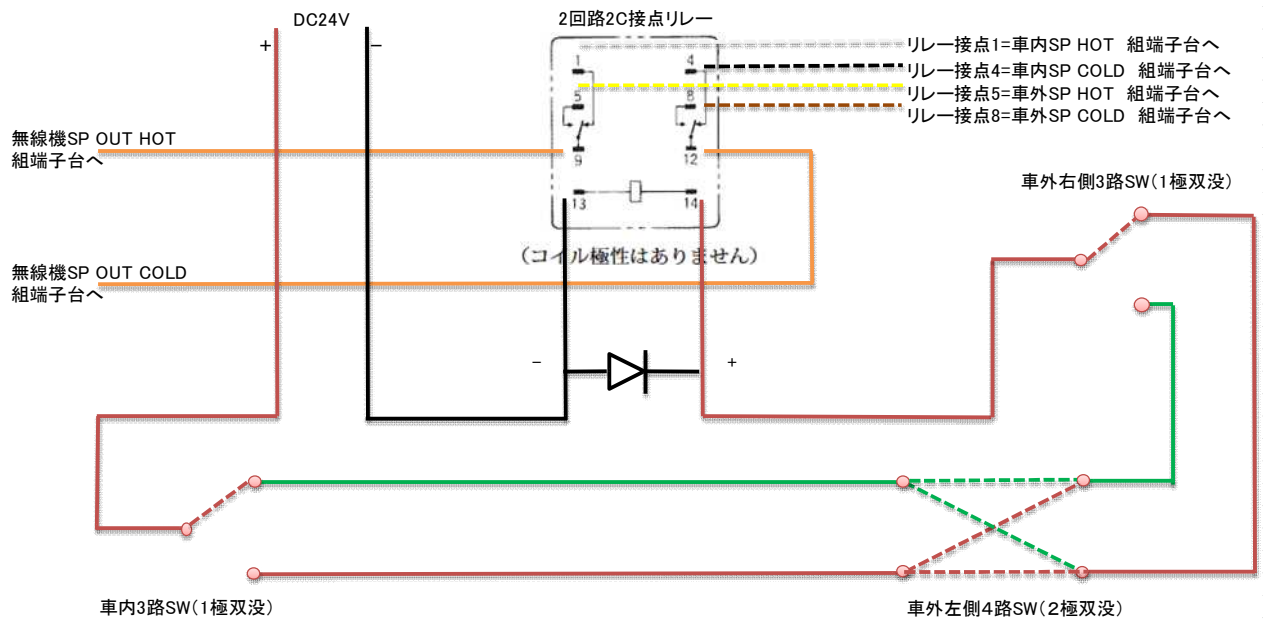
無線用車内スピーカーを車内天井に設置し、そのケーブルを後部座席下まで配線し巻いておくこと。

(3) 車外スピーカ用4路回路

ア スピーカー音声出力の車内・車外切替えのための「リレーを用いた4路回路」を以下のとおり設けること。

(ア) 前席オーバーヘッドにスイッチ(NKK製S-2 B同等品)を1つ取付けること。

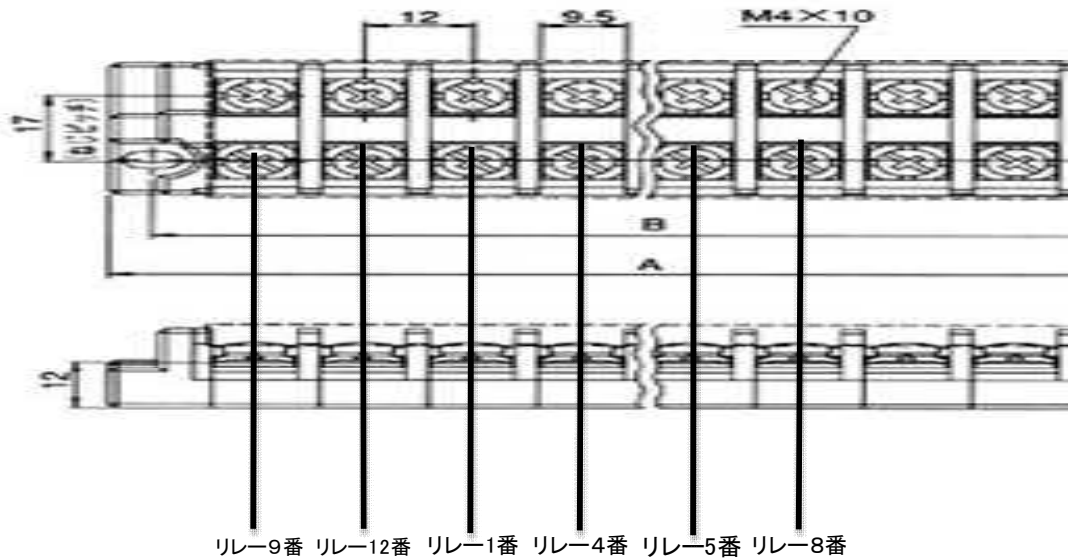
- (イ) 車外右側の収納ボックス内にスイッチ（NKK製 S-2 B 同等品）を1つ取付けること。
- (ウ) 車外左側の収納ボックス内にスイッチ（NKK製 S-6 B 同等品）を1つ取付けること。
- (エ) (イ) と (ウ) のスイッチは、収納ボックス内の鉄製ケースへ取付け、それを収納ボックスへ固定すること。
- (オ) 各スイッチは、「車内外切替」と表示すること。
- (カ) 下の回路図のとおり「リレーを用いた4路回路」を設けること。



※リレー参考型番(オムロン製MY2-D DC24) リレーソケットPYF08M 保持金具 PYC-P
 ※リレーはダイオード付
 注1、車外配線は既存MVVS 6C×0.3+スイッチ用配線のVCTF 4C×0.3以上を配線
 注2、スイッチ配線接続～リレー配線～端子台までは艤装施工範囲とする

- (キ) リレーの接点1, 4, 5, 8, 9, 12番は、6芯ケーブル（MVVS 6C×0.3sq）で組端子台と接続すること。
組端子台の接続は下の図面のとおりとすること。
- (ク) 組端子台は、後部座席下に固定しないで置いておくこと。
- (ケ) コンソールボックスから後部座席下に6芯ケーブル（MVVS 6C×0.3sq）を1本配線する
こし端末に「4路用6芯」と表示すること。

無線機、SP接続側(横須賀市無線取付側)



リレーソケット側(車輛艤装メーカー側)

組端子台参考型番 春日電気 T20 C 06

注1、施工による責任分界点は端子台にて

注2、端子台は無線機取付付近に

イ 各ケーブル類は50cm程度余長を持たせた長さとする。

ウ 各配線の端末は、線種を明記すること。

エ 本市が支給する物品を宅配便等で受注者へ送付する場合、その運賃は受注者が負担すること。

9 車両運用端末装置 (AVM 装置) 関係

車両運用端末装置 (AVM 装置) の配線等については、納車後に本市所有の AVM 装置の取付工事を本市が実施するため、受注者がアンテナ等を新たに用意し、次のとおり施工すること。なお、詳細は別途指示する。

- (1) 指定する GPS アンテナをルーフ上に取り付け、GPS アンテナの設置部周辺及び配線接続部分に耐熱防水 (車両外装用シリコン・シーラント) 処理を実施し、車両インターフェースユニットの取付位置まで配線すること。ルーフ上への取付けを最優先とするが、困難な場合のみ本市と協議の上、ダッシュボードの助手席側で運転視界の妨げにならない場所、かつエアコン吹き出し口付近を避け、極力水平の位置で金属製 GPS アンテナ用アースプレートを貼付した上に取り付け、車両インターフェースユニットの取付位置まで、車両の伝送系ノイズの影響を極力受けないルートを検討して最短距離で配線すること。GPS アンテナ末端の専用コネクタ側に全ての余長をまとめること。

- (2) 指定する FOMA アンテナをルーフ上に取付け、耐熱防水（車両外装用シリコン・シーラント）処理を実施し、モニタユニット取付予定位置付近まで配線すること。ルーフ上の取付けが困難な場合のみ本市と協議の上、ダッシュボードの助手席側で運転視界の妨げにならない場所、かつエアコン吹き出し口付近を避け、FOMA アンテナを立てることが可能な位置に取付け、モニタユニット付近まで最短距離で配線すること。FOMA アンテナ末端の専用コネクタ側に全ての余長をまとめること。
- (3) FOMA アンテナ及び GPS アンテナの取付位置は、無線用アンテナから概ね 50cm 以上離すこと。また、運転の安全を妨げるものがない、かつ金属突起部等から極力離れた位置に設置すること。
- (4) FOMA アンテナ及び GPS アンテナ設置位置からの車外配線を行う場合は、車両進行方向と逆側に配線し、車内の配線については、無線用同軸ケーブルと同じ経路で通線しないこと。配線は最短距離で行ない、配線を保護する方法と外部から浸水しない処置をすること。
- (5) 液晶ディスプレイの取付架台を運転に支障がなく、かつ助手席からの操作が容易な位置に設けること。取付架台は可能な限り液晶ディスプレイの設置位置を前後に変更できるよう幅を設け、かつ取付部分の高さが複数位置に可変できるようにすること。固定方法と高さについては別途協議する。液晶ディスプレイ等重量は約 5 kg であり、取付架台の強度を十分確保するため、鉄板強度を高めた構造とし、ボルト及びダブルナット固定とすること。
- (6) AVM 装置関連機器（車両インターフェースユニット、メンテナンスユニット（カバー含む）、モニタユニット、ネジ式ターミナル端子）の設置場所を確保すると共に、工具等を使用せず関連機器の工事・点検等が容易に行えるようにすること。車両インターフェースユニットの設置位置には、車両インターフェースユニット及びネジ式ターミナル端子台を余裕で収納できる金属加工のカバーを設置すること。確保カバー形状と設置位置については別途協議する。車両内に配線経路のみを通すことのできる隔離した収納場所を設けている場合、本市と協議の上で金属加工カバーの設置をしないことができる。
- (7) ネジ式ターミナル端子台には、上から順番にバッテリーからダイレクト配線の+端子、アクセサリ（ACC）、イグニッション（IGN）、SPEED 信号（車速信号）、BACK 信号、アース（ボデー）、バッテリーからダイレクト配線の-端子で配線すること。また、各配線及び端子台には、線種が分かるようタグを取付けること。ネジ式ターミナル端子台は、納車時に完全固定しないこと。
- (8) バッテリーの電源配線については、バッテリー付近にブレードヒューズ BOX と 10A のブレードヒューズを取付け、ネジ式ターミナル端子台まで直接配線し、他と配線を共用しないこと。ブレードヒューズ BOX には、タグを貼付すること。車両バッテリー交換時に、この配線が車両内で干渉しないよう考慮して配線すること。
- (9) AVM 装置関連機器設置位置に、資機材等を積載する恐れのある構造の場合は、関連機器を保護するための措置をすること。
- (10) 配線末端には線種を明記したタグを貼付すること。

10 塗装及び記入文字

(1) 本車両の塗装

塗装色については、本市が別に提示する色見本もしくは、次の塗装色を基準にすること。

ア 本車両の外観塗装全般（ホイール部分を除く）は、マンセル値 7.5R4/14 の近似値または同等色とし、彩度は 14 以上ならば可とする。

イ 収納ボックス内部等の塗装はシルバー色とする。

(2) 本車両の記入文字

ア 横書きの文字は、左から右への表記とする。

イ 指定する文字は、白色の丸ゴシック体とすること。なお、詳細は別途指示とする。

ウ 表記している文字は、位置・大きさを考慮し、バランスよく表示すること。なお、車両の形状等に応じて協議の上、調整を可能とする。詳細は別途指示とする。

エ シャッター等のデザインについては、別途協議とする。

オ 必要箇所に再帰性に富んだ反射材を貼りつけること。

カ 表記文字等は別添とおりとし、変更となった場合は速やかに受注者へ通知する。

第 12 補 足

1 車両の取付け品等において同等以上の性能を有するものを備える場合は、本市と協議をし、承認を得ること。また、資器材は最新の物とし、変更がある場合は当市担当者へ連絡すること。

2 本市が指定する資機材には専用の収納ケースを設けること。

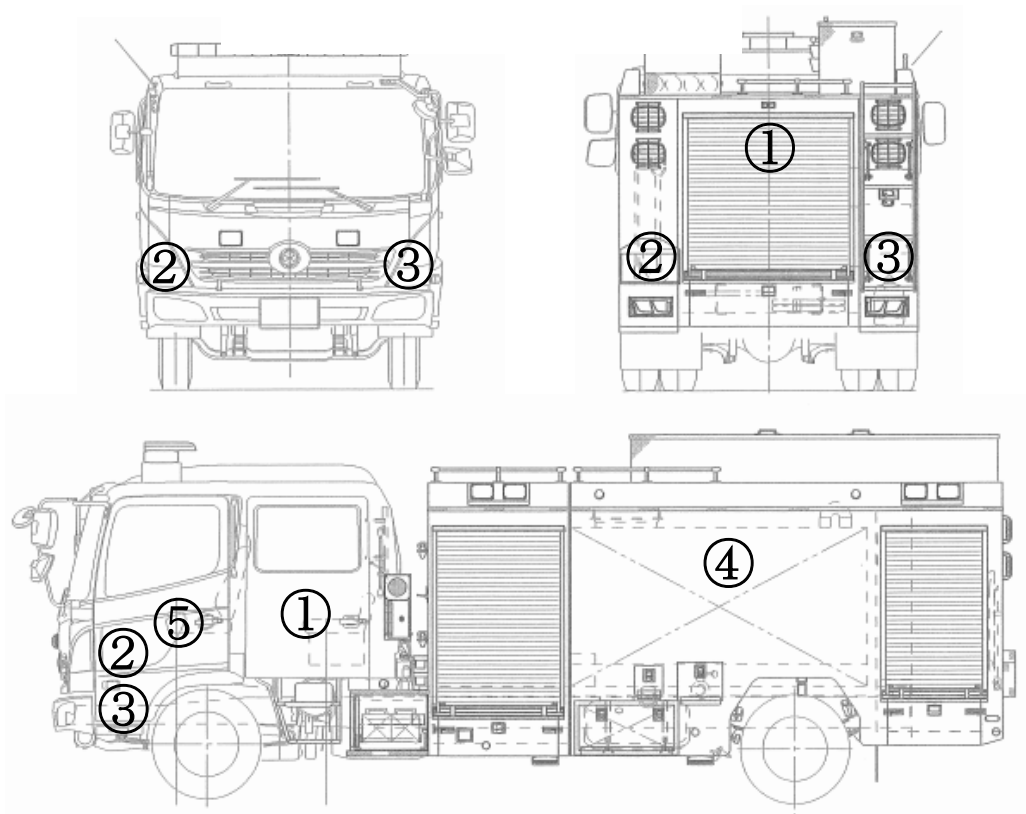
※上記の 1 及び 2 については、原則、仕様書の適用欄に示したとおりとす。ただし、契約後において、仕様書で定めた物品と同等以上の性能、操作性及び安全性を有することを証明できる内容の資料提出があり、本市が認めた場合は同等品とみなす。

3 別表 1 から別表 4 までの指定する資機材には「横須賀消防」、「坂本 532」と明記すること。また、各収納ケースには、資器材名称及び「横須賀消防」と明記すること。その他、詳細は別途協議とする。

別添

※ 添付している文字記入位置イメージ図は、記入位置を参考にするものであり、車両及び資機材等を限定するものではない。

【文字記入位置イメージ図】



記入文字等	記入位置	色別	1文字の大きさ 縦 (mm) × 横 (mm)
横須賀市消防局	①	白	別途指示
野比	②		
車両番号 (532)	③		
YOKOSUKA CITY FIRE BUREAU	④	別途指示	
横須賀消防 イラスト その1	⑤	別途指示	
補助金等充当元 (別途指示)	別途指示		

別表 1

装備品

番号	品名	適用	数量
1	エンジン回転計	適応品	1 式
2	エンジン油温計	適応品	1 式
3	アワーメーター	適応品	1 式
4	エアコン	適応品	1 式
5	パワーステアリング	適応品	1 式
6	パワーウィンドウ	適応品	1 式
7	デュアルエアバック	適応品	1 式
8	集中ドアロック	適応品	1 式
9	フォグランプ	適応品	1 式
10	電動格納ミラー	適応品	1 式
11	電動キャブチルト	適応品	1 式
12	時計	大型デジタル (オーバーヘッド)	1 式
13	ラジオ	AM・FM	1 式
14	サイドバイザー	適応品	1 式
15	フロアマット	適応品	1 式
16	泥除け	適応品	1 式
17	停止表示板	適応品	1 式
18	車輪止め	ゴム製 (黄色)	4 個
19	本車両用スペアタイヤ	ホイール付 (塗装なし)	1 式
20	本車両用タイヤチェーン	適応品	1 式
21	本車両用ブースターケーブル	適応品	1 式
22	本車両用鍵	標準装備分含め 4 本	1 式

別表 2

ぎ装、取付け品及び取付装置

番号	品名	適用	数量
1	消防章	台座付き（グリル赤塗装）	1 式
2	補助ミラー	助手席側の車外	1 式
3	旗立てパイプ	口径約 25 mm・手摺り兼用	1 式
4	赤色警光灯	NF-ML-VA2M-HA2-LF	1 式
5	赤色点滅灯	車両前後部及び側面上部手摺り	1 式
6	標識灯	赤色警光灯一体型（スモールランプと連動）	1 式
7	積載庫	アルミボックス（上部天井面 2 個）	1 式
8	バッテリー引き出し式	ワンタッチロック	1 式
9	オイルパンヒーター	10mコード付、カットスイッチ付	1 式
10	ポンプ室側面及び後面収納庫	シャッター式	1 式
11	ステップまたははしご	車両上部昇降用（両側面）	1 式
12	展開式はしご	車両上部昇降用（後面）	1 式
13	天井部側面立上げ 1 段手摺り等	両側面、後面、水槽蓋周囲	1 式
14	ポンプ室点検措置	天井部、積載庫前面等	1 式
15	作業灯（散光）※後部	フラッシュボーイ EV-Q15 （伸縮式、落下防止チェーン付）	1 式
16	照明灯（集光）※前部	フラッシュボーイ SP-Q15 （伸縮式、落下防止チェーン付）	1 式
17	保護枠	必要箇所	1 式
18	車体損傷防止措置	必要箇所	1 式
19	周囲灯	LI-21	1 式
20	路肩灯		1 式
21	塗装・記入文字		1 式
22	ビニールレザー加工	乗員席（車検証入れ付）	1 式
23	ルームミラー型車載用 後方確認装置		1 式
24	バックトーク装置	車内、車外（防雨型）スピーカー	1 式
25	ドライブレコーダー	（株）ユピテル製 BU-DRHD431 （専用予備 SD カード 16G） （自動時刻補正機能付き、納車時最新式）	1 式

26	マップランプ (LED タイプ)	助手席及び後部座席 (左右)、照射角度調整・ON/OFF スイッチ付	1 式
27	後退警報器 (ブザー音)	解除スイッチ付き	1 式
28	電子サイレンアンプ	TSK-5102V (通信機能・専用マイク (後部設置) 付)	1 式
29	電子サイレンアンプ用マイク	前席用、左右無線ボックス内 (各 1 個)	1 式
30	集中操作スイッチ	SBW-100 (通信機能付、保護枠付き)	1 式
31	モーターサイレンスイッチ	運転席付近及び集中操作スイッチ組込み	1 式
32	携帯無線等収納ボックス	前席中央部	1 式
33	手摺り	後部座席前面、格子状ネット付	1 式
34	空気呼吸器ホルダー	クイックホルダー	4 基
35	帽子掛け	本市指定	1 式
36	網棚	ネット状	1 式
37	室内灯 (LED タイプ)	運転席、助手席及び後席 (ON/OFF スイッチ付)	1 式
38	バッテリー管理器	ズボラ充電器 (コンセントマグネット式、コード 10m 付: オイルパンヒーター共用)	1 式
39	AC100V コンセント	2 個口接地付 (キャブ内)	1 式
40	取付金具	吸管、消火栓開閉金具、吸管スパナ、管そう、ノズル受け、とび口、金てこ、剣先スコップ、車輪止め、消火器、ホースブリッジ、スタンドパイプ、泡消火薬剤、ホースカー、鉄線カッター、特殊ノズル、分岐管等	1 式
41	空気呼吸器用ボンベ収納		1 式
42	庫内灯	LED タイプ	1 式
43	水ポンプ	A-2 級	1 式
44	PTO		1 式
45	吸水口	75mm ボールコック付 (ストレーナー・エルボ付)	2 式
46	吸管	NewLF-18 (75 mm×10m) 黄色ライン	2 式
47	放水口	65mm ボールコック付	4 口
48	放水口媒介金具	65mm ネジメス×65 差込オス (材質アルミ)	2 個
		ANS-65MC	2 個
49	中継口	65mm ボールコック付	2 口

50	中継口用媒介金具	65mm ネジメス×65mm 差込メス (ストレーナー付)	2 個
51	真空ポンプ	無給油式	1 式
52	ポンプ操作装置盤	多目的液晶ディスプレイ型	1 式
53	ポンプ手動操作装置	非常用	1 式
54	水槽	5,000ℓ 以上	1 式
55	オーバーフローパイプ・補給 口・排水口		1 式
56	電子水量計、 水量計 (目盛り付)	左右各 1 個	1 式

別表 3

デジタル無線機等、車両運用端末装置

番号	品名	適用	数量
車載用デジタル無線機			
1	無線用アンテナ	260MHz 帯消防救急デジタル無線用アンテナ 1/2 波長	2 本
2	アンテナ取付金具	アンテナに適合した取付金具	2 個
3	同軸ケーブル (コネクタ付)	5 D - F B	1 式
4	無線機用電源 ケーブル	S G M S G F M 2 - 8 L 5 0 0 0 同等品	1 式
5	無線機送受話器	MC - 1 5 7 D (無線機からマイクまでのケー ブルやジャンクションボックスを含む)	4 式
6	送受話器用ブラケット	CM - 5 5 3 8	4 個
7	消防救急デジタル無線機 用マウント、シャーシ	CM - 2010M T R	1 個
8	分離制御機用ケーブル	MT - 1 2 4 3 1	1 本
9	無線用スピーカー (車内)	clarion CS-520A 同等品	1 個
10	キースイッチ	タキゲン S-〇〇〇-90-EF-1 ※〇〇〇は、鍵番号のため別途指示	1 式
11	電装機器類	仕様書本文中で記述したケーブル・端子台・ スイッチ・リレー等	1 式
署活系無線機			
12	パーテックスカンパニー社製 消防用署活系無線機	無線機本体 : V X D - 4 5 0 F	4 台
13	連結型充電器	V A C - 6 0 5 8	1 台
14	大容量リチウムイオン充電電池	F N B - V 1 2 9 L I - U N I	4 個
15	キャリングケース	L C C - D 4 5 0	4 個
16	防水スピーカーマイク	M H - 6 6 A 7	4 個
17	クリックリリースブラケ ット	C L I P - 1 7 B	4 個
18	免許申請		4 式
車両運用端末装置 (AVM 装置)			
19	GPS アンテナ	本市指定	1 本
20	FOMA アンテナ	本市指定	1 本
21	インターフェースユニットカバー	本市指定	1 式
22	車両運用端末装置用電源ケーブル	本市指定	1 式
23	防水タイプの平型ヒューズホルダー (10A のプレート ヒューズ内蔵)	本市指定	1 式
24	タグ取付け	本市指定	1 式

PoC トランシーバー			
25	トランシーバー本体	ICOM 社製 IP501H	5 台
26	バッテリーパック	BP-272	5 台
27	6 連急速充電器	BC-211	1 台
28	ハードケース	LC-183	5 台
29	イヤホンマイクロホン	HM-153LS	5 台
30	充電器	BC-218	4 台
31	シガレットライターケーブル	CP-22	4 台

別表 4

積載品・付属品

番号	品名	適用	数量
1	吸管ストレーナー	ストカゴ 16SKGF3P (吸管ロープ 15m、65mm 差込オス媒介付)	2 式
2	吸管ちりよけ籠		
3	吸管ロープ		
4	吸管枕木	75mm 用・ゴム製・黄色	2 個
5	吸管スパナ		2 個
6	消火栓金具	75mm ネジメス×65mm 差込メス	2 個
7	消火栓開閉金具	106 型	1 本
		マンホールキー	1 本
8	防火水槽開閉金具	本市指定 (2 本組)	1 式
9	管そう	PP-65AEXS (643mm)	1 本
		PP-50AEXS (500mm)	1 本
10	ノズル	サイズ 65mm、口径 20mm、材質アルミ	1 個
		サイズ 65mm、口径 23mm、材質アルミ	1 個
		NM II (口径 20mm)	1 個
		NM II (口径 23mm)	1 個
11	特殊ノズル	TS-0501-S (50mm 差込メス) (0.5MPa)	2 本
		ゼロトルク (アクロン社 50mm 差込メス)	2 本
12	とび口	約 1,800 mm	2 本
13	金てこ	約 1,100 mm	1 本
14	剣先スコップ	約 1,000 mm	1 本
15	ホース延長用資機材	横須賀式ホースカー (アルミ製)	2 基
		ホースキャリアバック II (W50-65)	6 個
16	ポンプ工具		1 式
17	ホース	65mm×20m (キンパイ SP-H-A AC 町野 N アトラス付、1.6MPa 対応、ホース保護具の色及び記入文字については別途指示)	30 本
		50mm×20m (プロファイターアルミ、1.6MPa 対応、ホース保護具の色及び記入文字については別途指示)	30 本
		65mm×10m (1.6MPa 対応、ホース保護具の色及び記入文字については別途指示)	2 本

18	分岐管	メス 65mm・オス 50 mm×2 口対応型、開閉コック単独レバー式	2 個
19	ホース保護具	ホースバンデージ (65 mm用)	10 枚
20	ホースブリッジ	スーパーL 又はコンパクトブリッジ CB450	4 個
21	スタンドパイプ	PS-65S-S (長さ 715mm)	1 本
22	積水口用ストップバルブ	65 mm差込オス×65 mm差込メス	2 個
23	媒介金具	40mm 差込オス×65mm 差込メス (アルミ製)	2 個
		40mm 差込オス×50mm 差込メス (アルミ製)	2 個
		65mm 差込オス×50mm 差込メス (アルミ製)	2 個
		50mm 差込オス×65mm 差込メス (アルミ製)	2 個
		50 mm差込オス×40 mm差込メス (アルミ製)	2 個
24	泡消火薬剤	ミラクルフォーム α+ (最新)	5 個
25	トレーニング用泡消火薬剤	20 リットル缶	5 個
26	ポンププロポーションナー	TS-KB 型 (横須賀仕様、低発泡アタッチメント付) 混合比 0.25%以下に対応	1 式
27	空気呼吸器	AM30[横須賀モデル] (CS 面体、携帯警報機スーパーパスII、面体保護カバー、カバーガラス F2 取付け済み及び、予備カバーガラス一式、空気呼吸器収納ケース)	4 基
28	空気呼吸器ポンペ	730CIII Z (F-265 刻印、ポンペ用保護上下カバー付き)	8 本
29	携帯灯光器	ストリームライト ファイヤーバルカン LED (071F)	2 個
30	電気メガホン	TS-533R (ウエストホルダー付き、背負い紐長い)	1 個
31	誘導棒	LED 式	2 本
32	照明付発電機	WTA-04 (LED 式、ON/OFF スイッチ付)	1 基
33	チェーンソー	共立 CS42RS/40RV95 (予備替刃、2 サイクルオイル 4L、専用チェーンオイル 1L 付)	1 基
34	エンジンカッター	ハスクバーナー K760 12 インチ (2 サイクルオイル 4L 付)	1 基
		レジノイドブレード 金属用 5 枚・非金属用 5 枚	10 枚
35	消火器	自動車用 ABC 粉末消火器 (薬剂量 6 k g 以上)	1 本
36	補修用塗料	仕様塗装色	1 式
37	ティッシュボックスホルダー	マグネット式 (キャブ内天井等に装着可能であること)	2 個
38	機関員用安全ベスト		1 着

39	無線機携行用ベスト	FS JAPAN メッシュベスト BS2 レッド	1着
		バックプリント 別途指示	1着
40	燃料携行缶	フューエルボトル 1.3L	3本
		ガソリン 10L 缶	1個
41	クイックシールドα	表記別途指示	3式
42	可搬式ブロアー	テンペストブロアーBD24-H (納入時最新式)	2台
43	トランシーバー	STANDARD SR40 (充電器一式)	10個
44	トリアージ用シート	ETS-SHEET	1式
45	立入禁止テープ	PE製 黄色、赤文字印刷	30本
46	コードリール	30mコードリール 防雨型	1基
47	伸縮式カラーコーン	オレンジ (ウエイト付)	4個
48	緊急消防援助隊車両用マグ ネットシート	「緊急消防援助隊 神奈川県隊」×3枚 (白色) (大きさ別途指示)	1式

横須賀式ホースカー

